

私学フェア 2017

6月25日(日)に、「青山学院大学 青山キャンパス」と「相模女子大学」にて「私学フェア2017」を開催しました。午前中はあいにくの雨にも関わらず、のべ17000名の来場者(日能研調べ)にお越しいただいた首都圏最大規模のイベントとなりました。

私学フェアは各学校のブースを設けた「個別相談会」が中心。各ブースでは、先生方の話とともに保護者の方や子どもたちの質問が飛び交い、とても熱気にあふれていました。

今回は「私学をクエスト 私学につながるワタシをクエスト」というテーマで実施。多くの私学を知ることで保護者の皆さんや子どもたちが、どんどん私学をクエスト(探究)して行ってほしい。そしてその私学につながるご家庭や自分自身がどんな思いや興味があるのかもどんどんクエスト(探究)して行ってほしい。そのような願いを込めてのテーマとなりました。

保護者の方はもちろん、子どもたちも「子ども記者」となり各ブースを回る姿も。今年は本格的に「子ども記者」の“腕章”を用意。さらに、「毎日新聞社の記者によるレクチャー」を聞いた子どもたちには「毎日小学生新聞」の記者が実際に使っている「取材手帳」を特別にプレゼント。腕章と取材手帳を手にも多くの私学の先生にインタビューに行き、「どんな人に来てほしいと思っているの?」「入試問題の特徴は?」「職員室はどうなっているの?」などの質問を先生に投げかけていました。「それぞれの学校で答えてくれることが全然違って面白かった」(実際にインタビューした子どもの声)など、保護者とともに子どもたちも私学と出あうきっかけとなったようです。

「私学フェア」の魅力とは・・・?

私学フェアの最大の魅力は、一度にたくさんの学校の先生方と話ができること。上記のように同じ質問をしてみても、学校によって、先生によって返ってくる回答も様々です。その一つ一つの言葉や、伝えていただく姿の裏にある子どもたちへの思い、学びへの思い、を多くの学校から感じることができるのは、一度にこれだけの学校が集まる私学フェアだからこそ。たくさんの私学の先生と話をしていると、「我が家にとって大切な考え方」「我が子に受けさせたい教育環境」ということが、より明確になってくるものです。さらに今まであまり知らなかったという学校に出あえて、新たな志望校の発見につながることも。また、どうしても今まで予定が合わなくて学校の説明会にはいけなかった学校の話聞いて「イメージがガラッと変わった!」というご意見をいただくことも。たくさんの私学の先生に一度に会えること。私学フェアの最大の魅力です。

加えて「私学とつながる」工夫の一つとして、希望すれば各学校の先生から「サンキューメッセージ」が届くしかけも。気になる学校、つながりたいなと思った学校を用紙に書いて、専用BOXに投函。私学フェアの後、インターネットツールを使って私学からのメッセージが届くのです。

私学フェアで、私学をクエストする。私学とつながるワタシをクエストする。丸々1日私学の魅力に触れる中で、様々なクエストがあった1日になったのではないのでしょうか。

今回はNフレンズにて、卒業生から様々な魅力を感じ取っていただき、さらなる探究を進めましょう!

<本件に関するお問合せ先>

日能研本部 TEL : 045-473-2311 / FAX : 045-475-0544 / e-mail : pr@nichinoken.co.jp

